

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320237	X-21-B-3-320237	1	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年	
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年	
中国語 5aA	朱 継征			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

この授業は中国語の人文・社会科学分野の文献、新聞記事やテレビニュースなどを理解することを主な内容とし、一層高いレベルの語学力を身に付けさせる。この中で、中国語の聴解力、会話力、読解力、作文力などの総合的運用能力を高め、中国語検定試験4～3級合格、HSK(漢語水平考試)3～5級合格を目指す。授業には、中国語と日本語の異同についての説明及び通訳・翻訳の訓練においても、日本語の使用を最小限にするが、単語、本文と文法の説明及び討論会、発表会と授業での指示を基本的に中国語で行う。映画による理解力向上の方法も導入する。

各回毎の授業内容

<p>第1回 【授】社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、事後は、よく復習して聞く、話す、読む、書くなどの面で練習する。約2時間必要。</p> <p>第2回 【授】社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第3回 【授】社会問題について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第4回 【授】経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第5回 【授】経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第6回 【授】経済問題について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第7回 【授】経済分野の事について通訳・翻訳の訓練を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第8回 【授】国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p>	<p>第9回 【授】国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第10回 【授】国際関係について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第11回 【授】国際関係の事について通訳・翻訳の訓練を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第12回 【授】社会・経済・国際の問題についての中国語発表会 【前・後】事前は、各自分担の主題について発表内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第13回 【授】就職面接会を擬えて会話訓練を行う。 【前・後】事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第14回 【授】就職面接会を擬えて会話訓練を行う。 【前・後】事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。</p> <p>第15回 【授】中国語検定試験あるいはHSKの指導と模擬試験を行う。 【前・後】事前は、中検あるいはHSKの資料を収集する。事後は、各自の経験をよく総括する。約2時間必要。</p> <p>第16回 【授】定期試験 【前・後】事前は総合復習をする。約2時間必要。</p>
--	---

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

成績判定は主に定期試験の結果に基づくが、授業での活躍と出席状況も成績判定の重要な根拠になる。定期試験の成果や問題点を総括して後に説明する。

教科書参考書

中国の大学で使用される教科書、新聞記事などを導入する。
各種の中国語辞書を活用する。

受講に当たっての留意事項

辞書を持参すること、予習・復習をすること。
聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力する。日本語の使用を最小限にする。

学習到達目標

新聞記事やテレビニュースなどを徐々に理解するようになり、それをめぐる意見交換をするように挑戦する。実践訓練の中で、中国語検定試験4～3級やHSK3～5級の合格を目指す。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習